

県春季陸上開幕

第49回県春季陸上選手権が4日、青森市のカクヒロクルーブアスレチックスタジアムで開幕し、男女計20種目の決勝を行った。男子ジュニアB円盤投げは、伊藤大晴（佐井中）が42.67の県中学新、大会新で優勝した。男子走り幅跳びは灰玉平（はいたまいら） 慎吾（八戸学院大）が7.66、女子棒高跳びは大野花凛（弘前大）が3.41のいずれも大会新で頂点に立った。女子1500はルーシー・ドゥータ（青森山田高）が4分22秒85で優勝。鈴木維莉（同）は留学生選手を除く大会新の4分26秒35をマークし、2位に入った。同選手権は6日まで行われる。2日目の5日は男女計21種目の決勝を行う。（本田海輝、若松有希）

灰玉平 男子走り幅
大野 女子棒高
大会新



【男子走り幅跳び】7.66の大会新記録で優勝した灰玉平（八学大）

「目標上回り満足」

○：男子走り幅跳びで7.66の大会新記録をマークし優勝した灰玉平（八戸学院大）。この好記録に「目標としていた

7.50を上回る結果を出すことができ、満足している」と笑みをこぼした。助走のリズム感を意識した練習を重ねてきたといい、「助走がうまくはまり、いい踏みきりにつなげることができた」。5日には自身が最重視する1000が控えており、「気持ちを切り替えて全力で臨みたい」と意気込んだ。

記録に「目標としていた